

## 1 児童の状況及び実態

<b>国語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(台東区総合学力調査の結果(昨年度の学習内容の定着度)から)目標値を10ポイント以上上回る平均値だった。連用修飾語を理解していない児童がやや多い。記述問題も平均を上回る正答率であった。</li> <li>・(1学期の学習の様子から)漢字の習熟は二極化している。読書が好きな児童が多い。物語文の読み取りも深く考えられる児童も多い。しかし、中には表面的な文章から登場人物の気持ちを読み取ってしまう児童もいる。また、問題の聞かれたこととは違った自分なりの答え方で答えてしまう児童も少なくない。</li> </ul>
<b>社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(台東区総合学力調査の結果(昨年度の学習内容の定着度)から)目標値を10ポイント近く上回った結果となった。資料を読み取り、資料をもとに判断する力が比較的弱い。</li> <li>・(1学期の学習の様子から)都道府県を確実に覚えている児童が半分くらいしかいない。資料を提示して、読み取りはできるが、そこから発展的に考えられる児童が少ない。通塾率が高いため、「なぜなのか」という問いに対してすでに知識を有している児童が多い。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<b>国語</b>	<b>○知識及び技能</b> ・辞書等を積極的に活用し、語彙を増やし、活用する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の学習については、漢字10問テスト(小テスト)を行いながら短い期間で定着を図る。</li> <li>・語彙力、想像力を養うために読書を推進する。</li> </ul>
	<b>○思考力・判断力・表現力</b> ・比喩など言い換えがある表現を文中から正確に読み取る力を育てるとともに、分全体の内容を要旨にまとめることができる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に自分の考えを言葉で書く時間を多くとる。</li> <li>・表現力を高めるために、常に国語辞典を用意させ、語彙力を養う。</li> </ul>
	<b>○学びに向かう力、人間性等</b> ・積極的に新出漢字や習った語句・言葉を使い、自分の気持ちを表現する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文だけでなく、説明文など多様な文章に触れられる機会を作るため、学校図書司書や、PTA読み聞かせボランティアの方を活用する。また、授業中も言葉一つ一つに着目するように指導し、音読を積極的に取り入れるようにする。</li> </ul>
<b>社会</b>	<b>○知識及び技能</b> ・日本の産業についての特色や社会の仕組みや状況などを説明できる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・折に触れて地図帳を活用し、特色を捉える授業を行っていく。</li> <li>・産業構造と地理の関係を重点指導するとともに都道府県は県庁所在地も併せて漢字で書けるようにする。</li> <li>・資料の読み取りの視点を明確にし、指導を行う。</li> </ul>
	<b>○思考力・判断力・表現力等</b> ・日本の産業における社会的事象の相互の関連や、社会との関わりについて判断し考え、表現する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の知識をもとにして、授業ごとに資料を読み取り、根拠をもって児童自ら考えるような授業展開を行う。また、既習事項との関連性を意識できるよう視点を明確にし、指導を行う。</li> </ul>
	<b>○学びに向かう力、人間性等</b> ・社会事象について主体的に学習の問題を解決しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元導入時に教材との出会わせ方を工夫し、児童が疑問をもち、社会的な事象について自分なりの見方や考え方をもてる学習展開を行う。</li> </ul>